

閏春

今こそ國労運動に自信と確信を持ち、力を合わせ前に進んでいこう。

執行委員長 小林靖浩

組合員ならびにご家族のみなさま、新年あけましておめでとうございます。みなさまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお喜び申すところです。

年頭にあたり、新年のご挨拶を申し上げます。

私たち國勞に課せられた課題は山積していますが、

なかでも地域の足であるロー
カル線をめぐる動きは、今
まさに大きな節目を迎えて



国鉄の「分割・民営」化によつて国民の財産であつた鉄道を引き継いだJRには公共交通を守るという社会的責務があります。同時に、「分割・民営化してもローカル線はなくならない」

なく2年が経過します。この協議会は「3年を目前に存廃の結論を得る」としているように、残された期間はあと1年余となつており、より一層注視していくかなければなりません。

存廃を含めた公共交通の在り方を議論する「再構築協議会」制度に基づき、芸備線（備中神代～備後庄原）を対象に協議会が設置され、2024年3月に初会合が開催されて以降、間も

います。JR西日本はコロナ禍の減収に乘じて、公共交通の役割を放棄するかのように「存続困難」をアピールしてきました。このような中、国主導で

と当時の政府自民党は大々的に宣伝し、国策として分割・民営化を断行した国の責任は重大であり、行司的調整役などという傍観者の姿勢ではなく、主体的に

す。周知のように3月には岡山、米子、広島の各地方本部を統合し、新たに「中国地方本部」を結成する」とが決定しています。私たちもこれを国労運動

もに、駅の無人化・窓口閉鎖、減便、ワンマン化など、安全・サービス切り捨てに反対し、安全、安心して利用できる鉄道の確立に向って奮闘していきたいと考えています。

26春闌はすでに始動しています。この間の賃金抑制と相次ぐ物価上昇で働くものの生活は厳しい状況に追いやられています。

一方、業種や企業ごとの差はあるものの企業がもつ現預金は増え続け、内部留保は600兆円を超える13年連続で過去最高を更新し

たなスタート」として位置付けていかなければならぬいと考えます。

次世代へとつなげていくために、粘り強く、そして繰り返し国労の存在をアピールしていくましよう。その積み重ねによつて、お互に喜び合える日を迎えたいたいと思います。

今年もよろしく

・執行委員長	・執行副委員長	・書記長
小林 靖浩	勝田 哲也	
・第一支部委員長	・第二支部委員長	・第三支部委員長
藤江 一成	小林 裕二郎	定広 文彦
・第三監査科科長	・第三監査科科長	・第三監査科科長
岡本 仁科	岡本 仁科	西原 仁科
・書記	・書記	・書記
古賀 由恵	古賀 由恵	古賀 由恵

ています。今こそ労働組合の存在意義が問われていま
す。私たちを取り巻く状況は厳しい中にありますが、
私たちが今日まで歩んできた国労運動に自信と確信を
持ち、地方本部運動を全組合員の力を合わせ前に進め
ていく、その決意をあらためて申しあげるとともに組
合員・家族の健康とご多幸を祈念し、新年のご挨拶と
致します。ともに頑張っていきましょう！